

仕様

製品		ウォーターサーバー
温度調節機		自動
定格		100V, 50~60Hz
型式		CW55TD
外形寸法	本体 (mm)	230 (W)×450 (D)×430 (H)
	外箱 (mm)	330 (W)×530 (D)×530 (H)
重量	本体 (kg)	5.5kg
	外箱 (kg)	6.5kg
消費電力		65W
温度範囲 (冷水)		5℃~10℃
容量		800ml

故障かな?と思ったら

現 象	確 認	対 策
パワーランプが点灯しない	● 電源プラグが確実に接続されていますか?	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
冷水が冷えない	● 電源プラグが確実に接続されていますか? ● 本体がストーブやガス機器、又は直射日光が当たる暑い場所に設置されていませんか? ● 本体が壁面に近づきすぎていませんか?	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ● 涼しい場所に移動してください。 ● 本体を壁面より15cm以上離してください。
水がでない	● 電源プラグが確実に接続されていますか? ● 切替スイッチが「LOCK」になっていませんか? ● ウォーターバックが空になっていませんか?	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ● 切替スイッチを「COLD」「NORMAL」に切り替えてください。 ● 新しいウォーターバックに交換してください。

取扱説明書

コンパクトウォーターサーバー

carrio

Super Compact Water Server

■安全上の注意	2
■設置場所について	3
■各部のなまえ・はたらき	4
■初期設置の仕方	6
■ウォーターパック交換方法	8
■タンク内洗浄方法	10
■おいしく飲んでいただく為に	11
■仕様／故障かな？と思ったら	12

本取扱説明書は事故を防ぐための注意事項と製品の取り扱い方を記載しております。

ご使用の前に必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所に保管してください。

型式 CW55TD



安全上の注意

ご使用前に、この『安全上の注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。
本文中の「図記号」の意味は次の通りです。



「禁止」を示します。



「必ず守っていただく行為」を示します。



「電源プラグを必ずコンセントから抜いてください」を示します。



「ふれないでください」を示します。



「分解しないでください」を示します。

*お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据え付け上の注意事項



警告

誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



厳守

- 丈夫で安定した水平なところに確実に据え付けてください。転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。
- **たこ足配線をしないでください。** 定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



禁止

- 水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けしないでください。
漏電により、感電や火災の原因になることがあります。



注意

誤った取り扱いをした時に、状況によっては
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



禁止

- 油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しないでください。
万一漏れてウォーターサーバーの周辺に溜ると、発火の原因になることがあります。

使用上の注意事項



警告

誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



禁止

- 電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になることがあります。
- 電源プラグをウォーターサーバーの後面で押し付けしないでください。
電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 本体に水をかけないでください。電気部品に水がかかると感電や火災の原因になります。
- 定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。
- 製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。転倒・落下によりケガや破損の原因になることがあります。
- タンク洗浄時やけどをする可能性がありますのでご注意ください。



厳守

- 電源プラグはコンセントにプラグの根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。
異常発熱や火災の原因になることがあります。
- 製品は室内用ですので室外には設置しないでください。



禁止

- 可燃性スプレーを近くで使わないでください。電気接点のスパークで引火するおそれがあります。
- 子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わないでください。ケガをするおそれがあります。
- タンク洗浄時、やけどをする可能性があるのでご注意ください。



厳守

- 可燃性ガスなどのガス漏れがあった時には、ウォーターサーバーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。
引火爆発し、火災ややけどの原因になることがあります。



プラグを抜く

- 焦げ臭いなどの異常がある場合は、すぐに運転を停止して、電源プラグを抜き、販売代理店又は、当社お客様サポートセンターにご相談ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

使用上の注意事項



注意

誤った取り扱いをした時に、状況によっては
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 当社製品以外の飲料は入れないでください。機械の故障をまねいたり、水質が劣化する場合があります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。



厳守

- 長期間ご使用にならない時は、必ず、冷水・常温水とも排水し、電源プラグをコンセントから抜いてください。水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。

修理時の注意事項



警告

誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



分解禁止

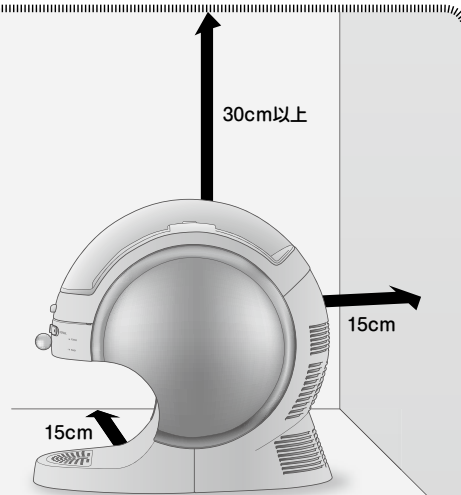
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作して、ケガをすることがあります。

お願い

- バスケット本体、サーバー本体は常に清潔に保ってください。
- 月に1～2回程度、サーバー内部のお手入れを必ず行ってください。(▶P.10～P.11)

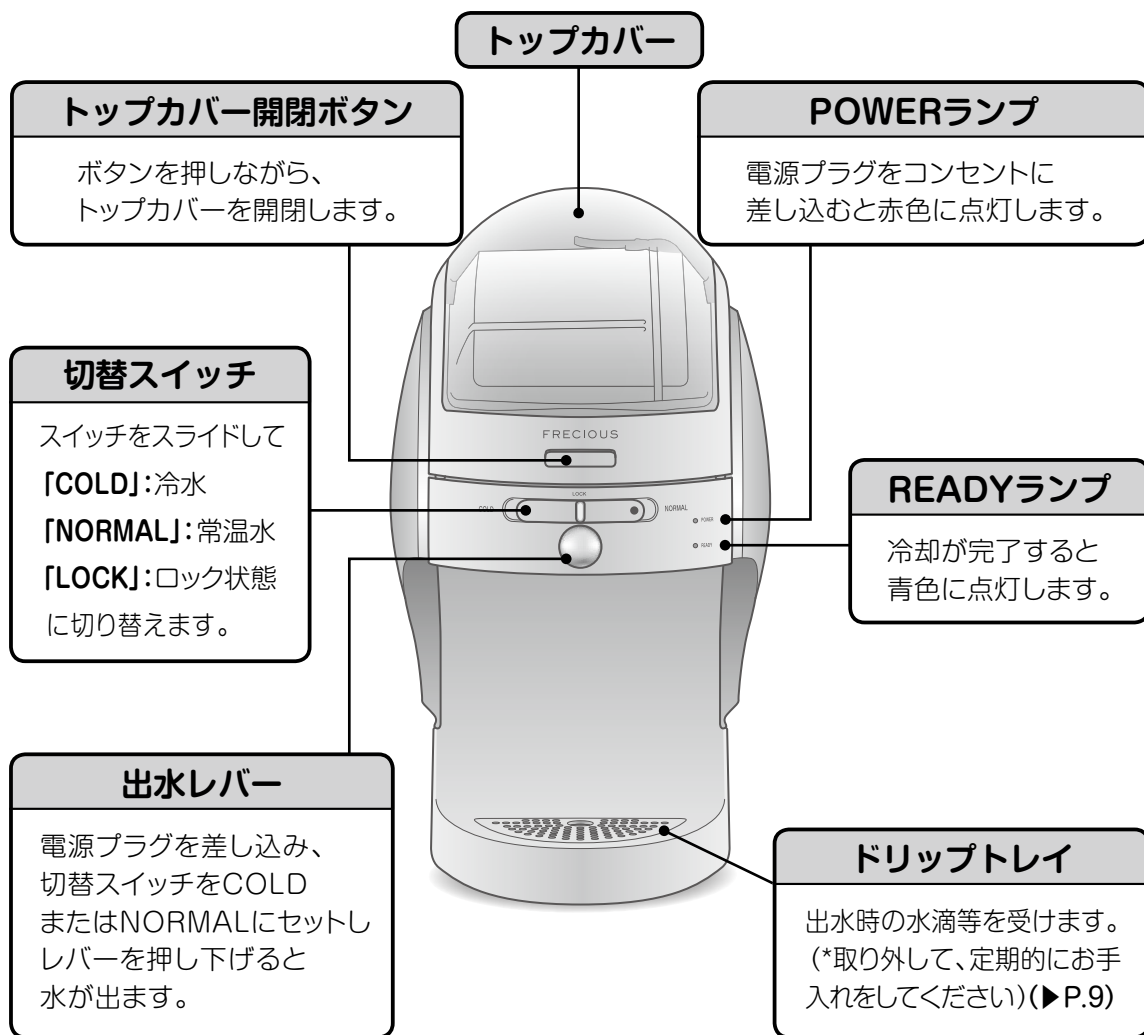
設置場所について

- ① 壁や家具から背面および左右側面を15cm以上、上面を30cm以上あけて設置してください。
- ② 必ず安定した平らな場所に設置してください。
- ③ 直射日光のあたる場所、ヒーターやストーブなどの高温になる場所、湿度の高い場所や水のかかる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
- ④ 室内用ですので、室外には設置しないでください。
- ⑤ 室温が28℃以上になりますと冷却に時間が掛かったり水が冷えきらないことがあります。(故障ではございません)



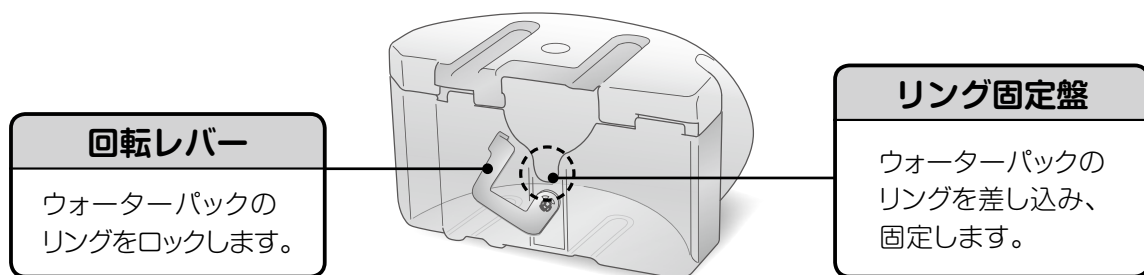
各部のなまえ・はたらき

〈サーバー 正面〉



〈バスケット〉

ウォーターパックを入れ、サーバーにセットします。



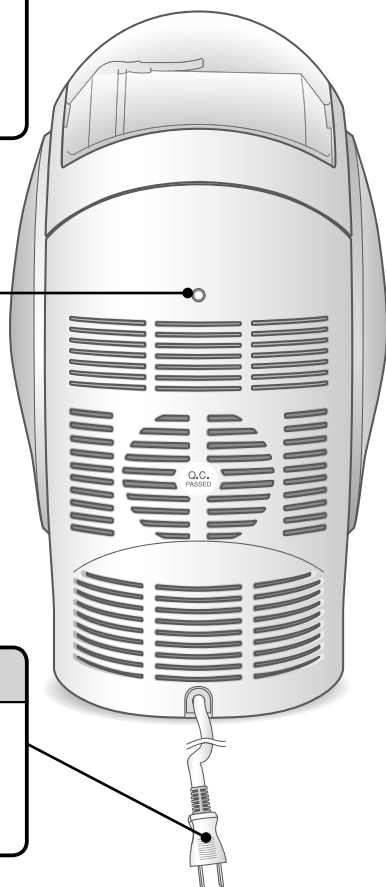
〈サーバー 背面〉

LEDスイッチ

LEDスイッチを押すと、サーバーの内側が青色に点灯します。

電源プラグ

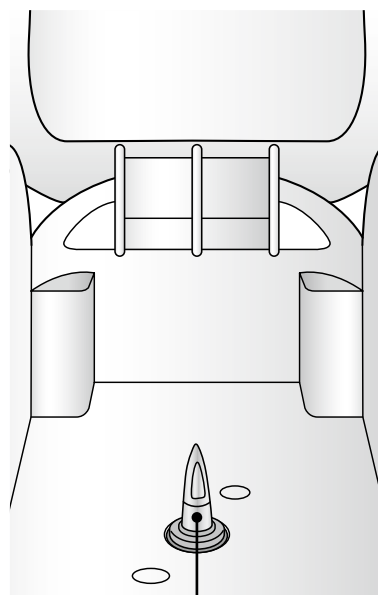
コンセントに差し込むと、冷却機能が作動します。



〈サーバー 内部〉

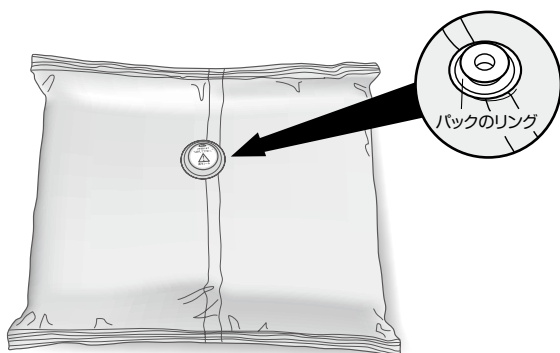
ニードル

ウォーターパックに刺さることで、ここからタンクに水が入ります。



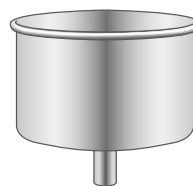
各部のなまえ・はたらき

〈ウォーターパック(リング付き)〉



〈お手入れカップ〉

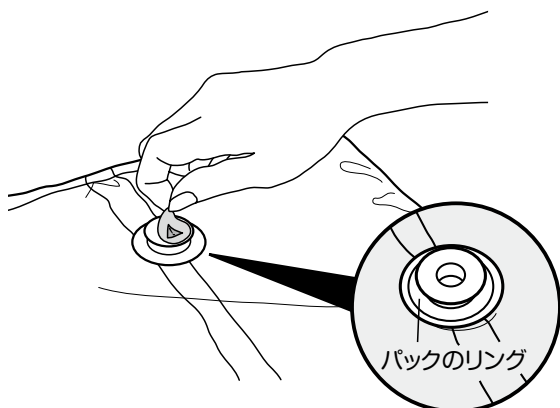
タンクのお手入れ実施時に使用します。(▶P.10)



(満水で500ml)

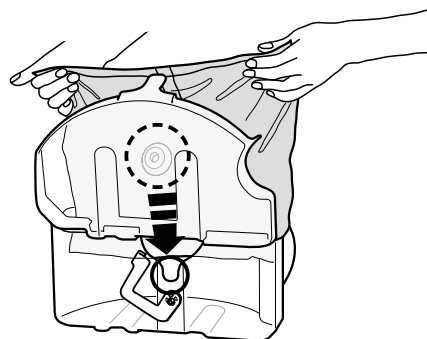
初期設置の仕方

1 ウォーターパックの衛生シールをはがす



2 ウォーターパックをセットする

必ずリングがついている面を横にし、バスケットのリング固定盤の面に合わせて入れる。

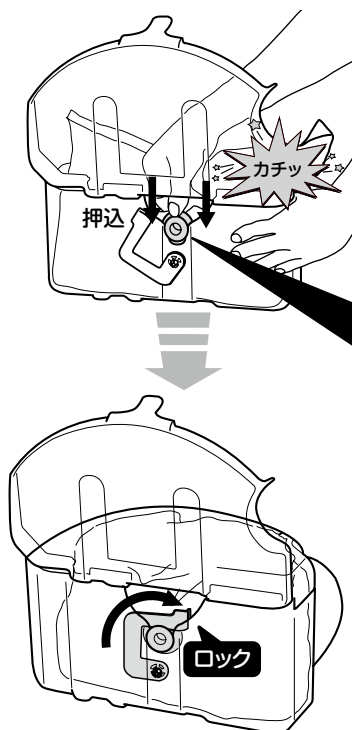


⚠ 重要

※押し込み不足の場合、水が漏れる原因となります。

3 リングをバスケットの固定盤に押し込み、回転レバーでロックする

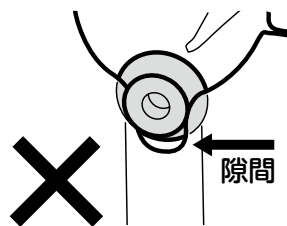
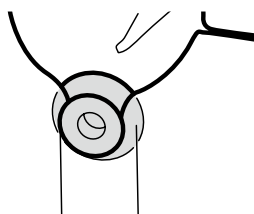
「カチッ」と手応えがあるまで、リングを押し込む。(スムーズに入らない場合はやり直してください。)
回転レバーを回して、リングをロックする。



必ず

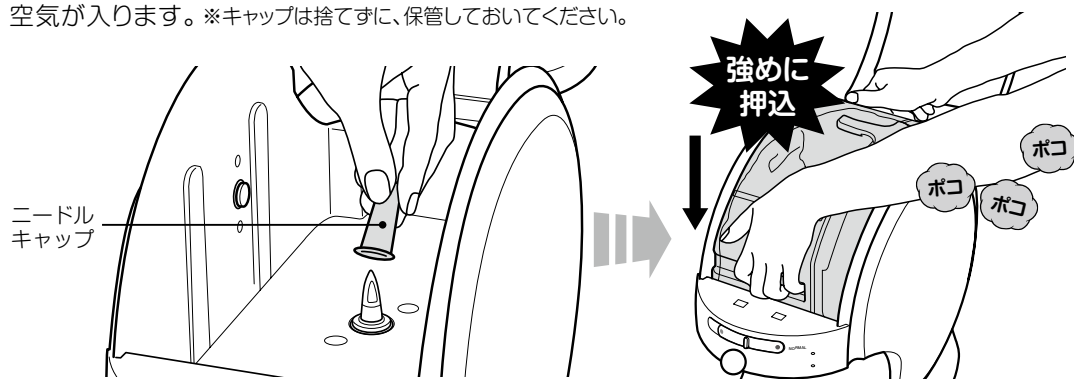
チェック

リングが、固定盤に一番下まで押し込まれていることを確認。

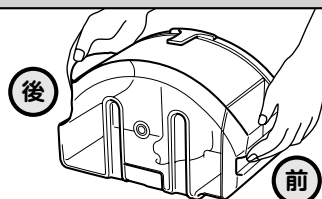


4 キャップを取り外し、バスケットをセットする

本体のトップカバーを開け、中のニードルキャップを取り外してバスケットを本体にセットすると、空気が入ります。※キャップは捨てずに、保管しておいてください。



⚠ 注意



◀ バスケットの前後にご注意ください。
(BACKのシールがあるほうが後ろです。)

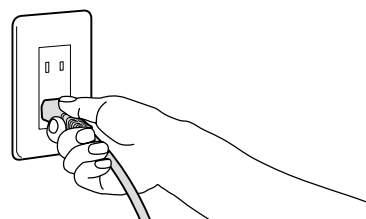
.....
サーバー内部の横面に突起物がありますので、バスケットを強く押し込んでください。



初期設置の仕方

5 約1分間待ち、電源プラグを差し込む

※約1分後、タンクが満水となります。
※POWERランプが赤色に点灯し、冷却がはじまります。



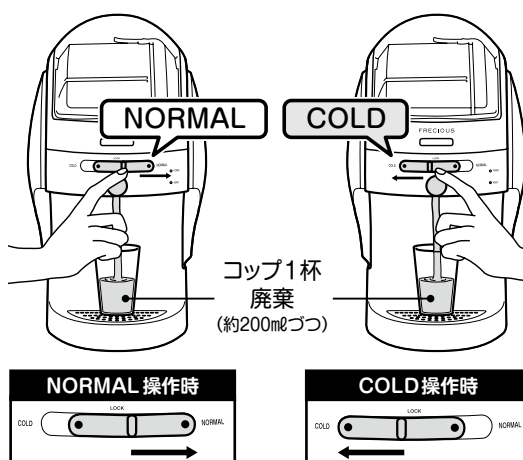
6 切替スイッチで出水確認をする

「COLD」「NORMAL」のそれぞれから、出水を確認。

※水が出るまでレバーを押し続けてください。
※初めてご使用になる際はNORMAL側、COLD側から各コップ1杯(約200mlづつ)廃棄することをおすすめします。



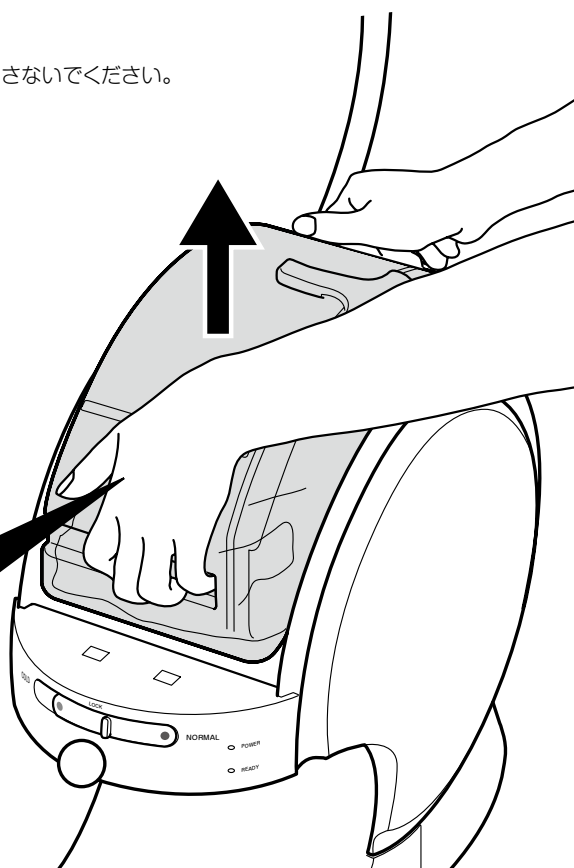
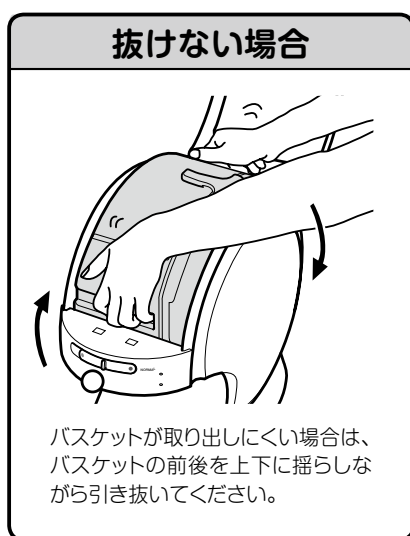
※初期設置の場合、約80分ほどで冷却が完了し、「READYランプ」が青色に点灯します。
(冷却完了までの時間は室温により異なります。)



ウォーターパック交換方法

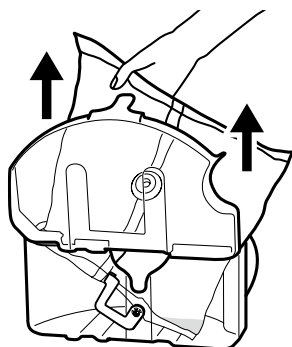
1 ウォーターパックが空であることを確認し、バスケットを取り出す

※パックに水が入っている状態で、バスケットを取り出さないでください。



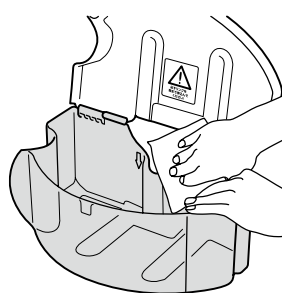
2 空のウォーターパックを取り出す

ふたを開け、回転レバーのロックを外してウォーターパックを取り出す。



3 水分を拭き取る

ウォーターパックをセットする。(▶P.6～P.7)



〈バスケット内〉



〈バスケット収納部〉

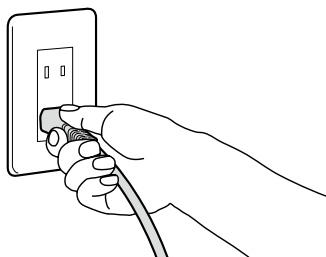
※バスケット内や本体のバスケット収納部に水滴がついている場合は、水分を拭き取り清潔に保ってください。

おいしく飲んでいただく為に

※開封後は、14日間を目安に飲みきってください。

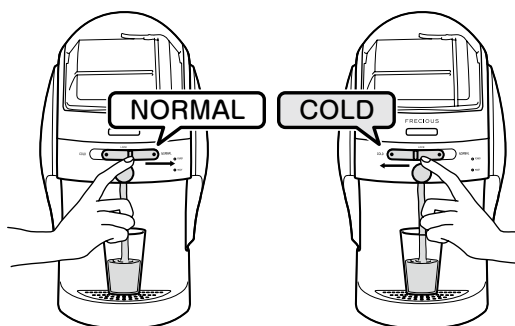
電源プラグ

当社の水はナチュラルミネラルウォーターです。電源を切った状態でいると、タンク内の水質が劣化する恐れがありますので、電源プラグは常に差し込んだ状態でご利用ください。



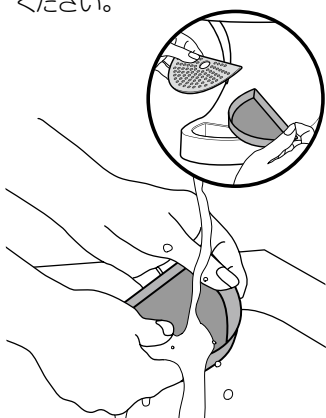
冷水・常温水

冷水、常温水ともに定期的にご利用ください。タンク内の水が循環し、水質が保たれます。タンク内の水の滞留は避けてください。



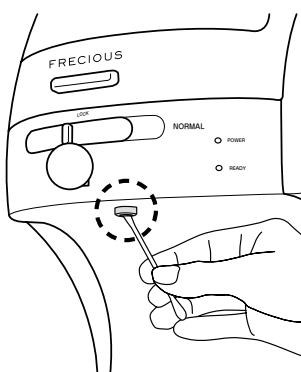
ドリフトレイ

中性洗剤で汚れを落とした後、よくすすぎ、乾いた布で拭いてください。



インナーノズル

ブラシや綿棒をノズルに差し込みよごれを取り除いてください。



背面放熱部

掃除機で底部や放熱部に付着した、ちりやホコリを吸い取ってください。



おいしく飲んでいただく為に

長期間使用しないとき

1. トップカバーを開け、バスケットを取り外します。
2. 出水レバーを下げ、冷水および常温水を水が出なくなるまで排水します。
3. 製品各部に残っている水気は完全に拭き取ってください。
水気が残っていると悪臭やサビの原因になります。
4. ニードル（針）部のキャップを取付け、トップカバーを閉めてください。
5. 再使用するときは、本書「タンク内洗浄方法」手順2～7までを必ず行ってください。（▶P.10～P.11）

タンク内洗浄方法

タンク内のお手入れには熱いお湯を使用します。お手入れ前に70～80℃のお湯（ヤケドに注意）を1ℓ程度ご用意ください。

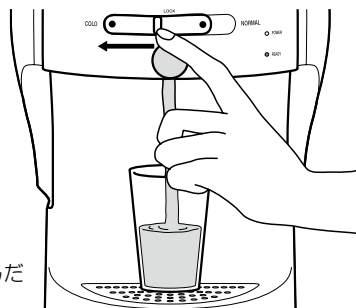
※バック交換のタイミングで必ず行ってください。
※『ウォーターパック交換方法 1. 2. 3.』の後に行ってください。

1 「COLD」から水を出し切る

切替スイッチを「COLD」に合わせ、
水が出なくなるまで出し切ってください。

※出した水はおいしく飲めます。

電源プラグを差し込んだ
状態でいきます。



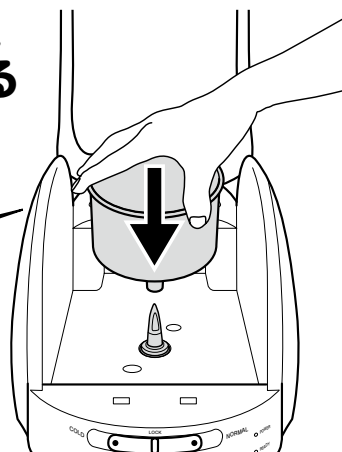
2 お手入れカップをニードルにセットし、 用意したお湯（70℃～80℃）を入れる

付属のお手入れカップをニードルに深く差し込み、
お湯（70℃～80℃）を注ぎ入れる。

セット後、お湯を注ぐ



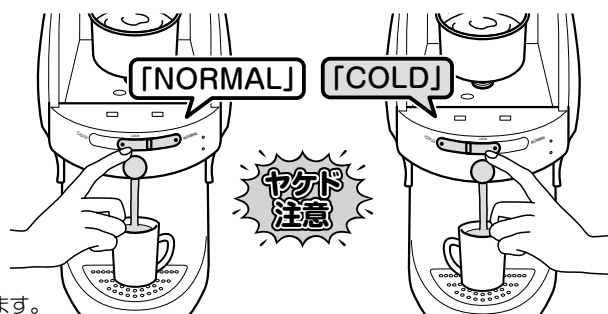
タンク内にお湯が入って
いきます。お手入れカップ
にお湯が半分残る程度ま
で入れてください。



3 約50mlずつお湯を出す

先に「NORMAL」から、
次に「COLD」から
それぞれ約50mlずつお湯を通す。

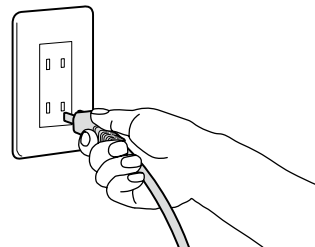
※配管内のお手入れの為、タンクからお湯を通します。



4 電源プラグを抜き、約10分間置く

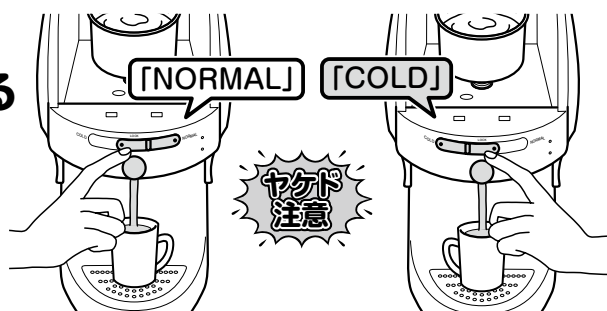
そのまま約10分間放置し、熱殺菌する。お手入れカップに
残湯が1／3位残っている事を確認してください。

※電源プラグを差したままにすると、冷却が始まりタンク内の
お湯の温度が下がる為、必ず電源プラグを抜いてください。



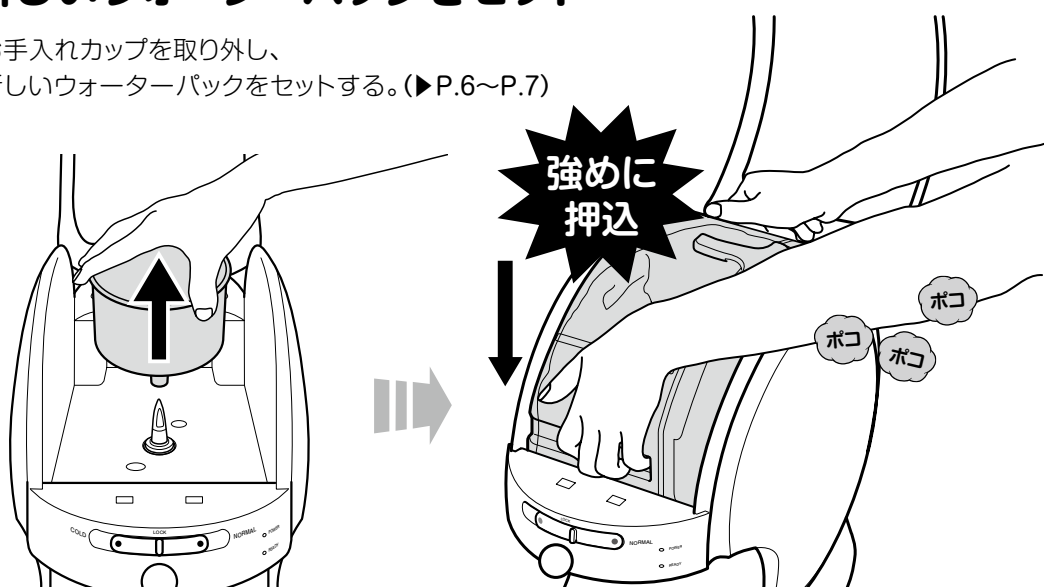
5 電源プラグを差し込み、 それぞれお湯を出し切る

先に「NORMAL」の方から、
お手入れカップのお湯が
なくなるまで出します。
次に「COLD」からタンクのお湯が
なくなるまで出し切ります。



6 カップを取り外し、 新しいウォーターパックをセット

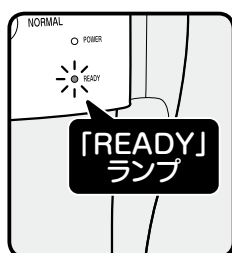
お手入れカップを取り外し、
新しいウォーターパックをセットする。(▶P.6~P.7)



タンク内洗浄方法

7 約50mlずつ水を出し、冷却完了まで待つ

配管内に残っている残水を出し、
READYランプが青色に点灯するまで待つ。



冷却が完了すると
「READYランプ」が
青色に点灯します。

